

目黒区議会議員選挙 選挙公報

目黒区選挙管理委員会

with you

新人

誰ひとり取り残されない目黒へ

「ひとりに寄り添う」を政治信条に

私自身、経済的に大変な時に、公明党が推進した「子ども医療費無償化」「奨学金制度」などの政策に助けられてきました。苦しい環境に置かれている方に寄り添うことが、政治のあるべき姿です。

高齢者やひきこもりの方などの孤独を防ぐ居場所づくりや一人暮らし高齢者の見守りを強化し、支え合う目黒を築きます。

また、そうした方を支える側のサポートも重要です。ヤングケアラー、障がいを持つ方の家族など、介護者の相談・サポート体制の充実。特別養護老人ホームなどの施設の拡充とともに、介護従事者の待遇改善にも挑戦します。

- 1975年 広島県呉市生まれ。都立戸山高校卒業。立教女学院短期大学幼児教育専攻科修了。
- 目黒区芸術文化振興財団でめぐるパーシモンホールや目黒区美術館のイベント企画、運営などに従事。学芸員補取得。めぐるパーシモンホール職員として、コンサート開催中に地震が起きた場合を想定した、避難訓練と演奏を組み合わせたイベントを企画、好評をいただき、10年間継続しています。
- その他、高齢者など劇場に足を運ぶことが難しい方や子どもに芸術・文化を届けてきました。

ホームページ



シングルマザーとして子育てに奮闘

働きながら育児する苦労がわかるからこそ、子育て世代と子どもの味方になりたい。目黒区においては公明党のネットワーク力で保育園の拡充を進めてきました。

待機児童が問題となっている学童保育を拡充するなど、安全・安心な保育・教育環境の整備を進めます。また、女性のデジタル人材育成、学校給食費の無償化にも挑戦します。

芸術・文化が薫る多様性豊かな目黒に

前職の財団で、人の心を豊かにする、芸術・文化の力を強く感じました。この経験を活かし、若手アーティストの育成、アート教育の充実などに取り組んでいきます。

また、LGBTQへの理解を促進し、目黒区でのパートナーシップ制度の制定など、あらゆる方が住みよい、多様性豊かな目黒を築きます。



はまよし 子

公明党公認

「区議会議員は、購ることなく、地に足をつけ、根をしっかりと張って活動し、区民にとって一番身近な議員であるべきだ」という信念を持って、これからも地域の皆様と共に一層行動して参る所存です。これからも身近な問題に対して、「安心して住み続けられる目黒区」を目指し、皆様と共に考え、区・都・国が連携して解決できるよう活動してまいります。

そくだ次郎の基本的な考え

- フレキシブル (柔軟性)**
 - 1 安心と安全に住み続けられる目黒区を創ります!
 - 4 温かい家族の絆・地域との絆を再生します!
- オープン (公開性)**
 - 2 地域密着・現場優先に行動します!
 - 5 子ども達が安心して学ぶことのできる安全な学校を確立します!
- アクティブ (行動力)**
 - 3 災害に強い目黒を目指します!
 - 6 10年・20年先、次世代・次々世代の目黒区を見据えて行動します!

誇りを持ち、安心して安全に住み続けられるという確かな実感を持つ目黒区にする為に「目黒にまっすぐ! 未来にまっすぐ!」皆様と共に行動します。

- 昭和35年10月3日生
- 【学歴・職歴】
 - 東海大学附属相模高校・東海大学文学部
 - 広島大学卒業
 - 会社員・都議会議員秘書・国会議員秘書
 - 平成19年統一地方選挙で初当選
 - 現在4期連続当選
- 【職歴】
 - 各務、特別委員会正副委員長等を歴任
 - 平成27年自由民主党目黒区議員幹事長
 - 平成30年目黒区監査委員
 - 令和2年第71代目黒区議会議員
 - 令和5年4月現在
 - 議会運営委員会委員長
 - 生活福祉委員会
 - 自由民主党目黒区議員幹事
 - 【その他】
 - 五本木中町会 副会長
 - 五本木稲荷神社総代
 - 廣番1・2丁目町会青年部顧問
 - 五本木住区顧問
 - 目黒区保護委員会
 - 神奥 岡本会副会長
 - 目黒区消防団第六分団副団長
 - 応急手当指導員
 - 第3級陸上特殊無級技士
 - 防災士
 - 家族
 - 妻 長女 次女

<http://www.soda-jiro.net/>

目黒にまっすぐ! 未来にまっすぐ!



そくだ次郎

自由民主党公認

実績の一部

- 子育て支援・教育**
 - 隙間時間を活用して一時保育サービスの利用率増加を実現
 - 中学校の部活動を充実させるため外部指導員の採用を実現
 - 小中学校の双方オンライン授業に支援アプリの導入を実現
- 区民生活**
 - 自転車シェアリングを実現
 - 区民の雇用を促進するため目黒区創業支援事業を実現
 - アクリル引戸板タイプの町会・自治会掲示板を設置
 - 防災・安心安全なまち
 - 自転車や電動キックボードの危険運転を取締まり強化
 - ペット防災手引きを策定
- 地域での実績の一部**
 - まちの落書きを見回り消去
 - まちの階段や坂に手すり設置
 - 通学路を見回り危険場所にミラーや警告表示を設置
 - ごみ集積所の不法投棄やネット破壊を見回り対応
 - コロナ禍で町会・自治会掲示板の張替えをお手伝い

2期8年の実績で皆さまとつくる新しい目黒

- 1 教員不足解消、私費教材(ドリル等)の負担軽減による学校の魅力づく
- 2 デジタルの苦手な方が不便にならない生活支援サービス(対面等)の提供
- 3 ごみ集積所の不法投棄解消を目指して区独自の制度で徹底的に防止
- 4 大胆な賃上げ実現へ国任せではなく、区独自の賃上げ制度等で後押し
- 5 防災士を活用した在宅避難、避難所運営等の支援(目黒川氾濫への備え)
- 6 全ての区民が参加達成感の得られるゼロカーボン目黒を計画

リュックを背中に走り回り
ご相談をお聞きしています

唯一! やります! 国と連携した賃上げ対策・子育て支援に力強く取り組む決意です。

私達も鈴木まさしさんを応援しています!

前内閣総理大臣 参議院自由民主党幹事長代行 自由民主党女性局長 目黒区女性局長 議員代理 菅 義偉 丸川 珠代 松川 るい 今井 絵理子



鈴木まさし

自由民主党公認

3児の母、ITエンジニア、腎移植ドナー

これだけ情報化社会になっても、政治の世界にITエンジニアはほとんどいない。

3年前の区長選挙で私が最も訴えた、目黒区公式LINEの導入。今や17万人もの登録者数(世帯数超え!)です! 最もつながるまち目黒へ!

目黒区 17万
渋谷区 6万
品川区 5万
大田区 2万
世田谷区 1万

2023/3/18時点
公式LINE登録者数

という経験と専門性に基づき、
①子ども ②健康 ③テクノロジーを3本柱に、次世代へとつなげる、持続可能な区政に変えていきます。電話一本で役所の手続きができ、健康まちづくりで医療費を削減し、緑に囲まれて自由に遊べる居場所を作り、10年後の目黒を支える子ども達のための環境を整えます。

あなたの尊い一票を私に託してください。これからも、精一杯あなたの期待に添える仕事をします。

広島県出身、東京工業大学院 博士課程満期退学。外資金融企業のITエンジニア歴10年、3姉妹の母。一昨年、透析中の夫(東山小出身)に腎臓提供。目黒区議会議員2期、目黒区長選挙惜敗。趣味は筋トレ、バイク、無添加マニア。

子供にツケをまわさない!

▲動画はこちら!



山本ひろこ

立憲民主党公認 46歳

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

「始発から終電まで」の駅前お困りごと相談会の対話で、目黒区に暮らす皆さまのお声を伺ってききました。理不尽と戦い、おかしなことにおかしいと言う。そして、あなたを支える力になる。そんな決意を胸に、手塚仁雄代議士のもとで秘書として研鑽を重ね、西崎つばさ都議会議員とともに地域を走りまわってきました。目の前のひとつひとつの課題に全力で取り組む覚悟です。どうか僕を目黒区議会で働かせてください。

細貝悠プロフィール
1993年(平成5年)4月、4人兄弟姉妹の末っ子として、八王子に生まれる。都立日野台高校、早稲田大学社会科学部を卒業。早大探検部出身、小中高サッカーひとすじ。衆議院議員手塚仁雄公設秘書。A型・酉年・牡羊座。趣味は、山と海とミュージカル。

30歳

NO! 選挙カー
お昼寝の赤ちゃん、授業中の子どもたち、オンライン会議、夜勤明け…。平穏な生活を妨げる選挙カーを、私は使いません。



ほそがい 悠

原点は駅頭に

みなさまの税金を納得できるサービスへ!!

- 金融リテラシー元年! と呼ぼう。**
 - ・お金の迷わない! おかねの相談窓口の設置をします。
 - ・リカレント教育とリスクリングの推進を行い働きたい人が働けるまちを目指します。
 - ・民間企業と協力してNISA、iDeCoの知識を広めます。
 - ・再雇用、再就職を促進して街の活性化に取り組みます。
- 時代は防災からサバイバルへ**
 - ・在宅避難で身を守る知識を普及させます。
 - ・マンションも含めた地域の避難方法を共有します。
 - ・防災士を活用した地域防災組織の知識向上を目指します。
 - ・ペットと飼い主と一緒にサバイバル出来る勉強会を開きます。
 - ・学校の避難訓練マニュアルの見直しを進めます。
- 人生100年時代@めぐるを考える**
 - ・健康診断で認知症検査をおこない、早期発見を推進します。
 - ・区有施設にフリースペースをつくり、仕事や交流の場所を増やします。
 - ・たばこのポイ捨てのない町、喫煙所の設置を推進します。
 - ・地域の防災訓練や美化活動で世代を超えた交流の場を作ります。



梅田まさみ

無所属